

# 2018年3月期 決算説明会

2018年5月18日(金)

東証1部 4539

# 目次

---

スライド番号

- |                    |     |    |
|--------------------|-----|----|
| 1. 2018年3月期 決算の概要  | ... | 3  |
| 2. 2019年3月期 通期業績予想 | ... | 11 |
| 3. 当社経営戦略について      | ... | 15 |

# 2018年3月期 決算の概要

# 連結損益の概況

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期				業績予想 (2017年10月修正)	
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		金額	(達成率)
					(増減額)	(増減率)		
売上高	35,689	100.0%	35,331	100.0%	△ 358	△ 1.0%	35,500	99.5%
売上原価	19,449	54.5%	19,535	55.3%	+85	+0.4%		
[原価率増減P]				[+0.8p]				
販売管理費	13,403	37.6%	13,947	39.5%	+543	+4.1%		
[販管费率増減P]				[+1.9p]				
営業利益	2,836	7.9%	1,848	5.2%	△ 988	△ 34.8%	1,800	102.7%
経常利益	2,849	8.0%	1,696	4.8%	△ 1,153	△ 40.5%	1,700	99.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,054	5.8%	1,160	3.3%	△ 893	△ 43.5%	1,150	100.9%

# 医療用医薬品の状況(連結/荷離)

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
医療用医薬品荷離(①+②)	31,513	100.0%	32,153	100.0%	+2.0%
①ジェネリック医薬品荷離	29,204	92.7%	30,115	93.7%	+3.1%
うち自社販売	27,808		29,174		+4.9%
うち導出・輸出	1,395		941		△ 32.6%
アムロジピン	2,865		2,940		+2.6%
ランソプラゾール	2,279		2,163		△ 5.1%
ドネペジル	1,642		1,557		△ 5.2%
ラベプラゾール	1,586		1,558		△ 1.8%
リマプロスト	1,469		1,427		△ 2.8%
プラバスタチン	1,173		1,147		△ 2.2%
ボグリボース	957		870		△ 9.1%
その他	17,229		18,449		+7.1%
②主力品	2,308	7.3%	2,038	6.3%	△ 11.7%
ウラリット	1,409		1,225		△ 13.1%
ソレトン	679		598		△ 12.0%
カルバン	219		214		△ 2.1%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	30,445	—	31,100	—	+2.2%
③ジェネリック医薬品受託	1,240	—	985	—	△ 20.6%

# 業態別ジェネリック医薬品売上状況(個別/荷離)

	2016年3月期	2017年3月期		2018年3月期	
	売上構成比	売上構成比	売上前期比	売上構成比	売上前期比
病 院(100床以上)	14	15	+3.2%	15	+0.9%
診 療 所(100床未満)	12	12	△ 5.2%	11	△ 2.0%
保険薬局	74	73	△ 0.6%	74	+0.1%
合 計	100	100	△ 0.6%	100	△ 0.1%

【保険薬局市場におけるカバー率(個別)】

約58,000軒中 **70%**(ジェネリック医薬品のみの値)

うちDPC病院	—	—	+5.3%	—	+0.4%
---------	---	---	-------	---	-------

【DPC病院におけるカバー率(個別)】

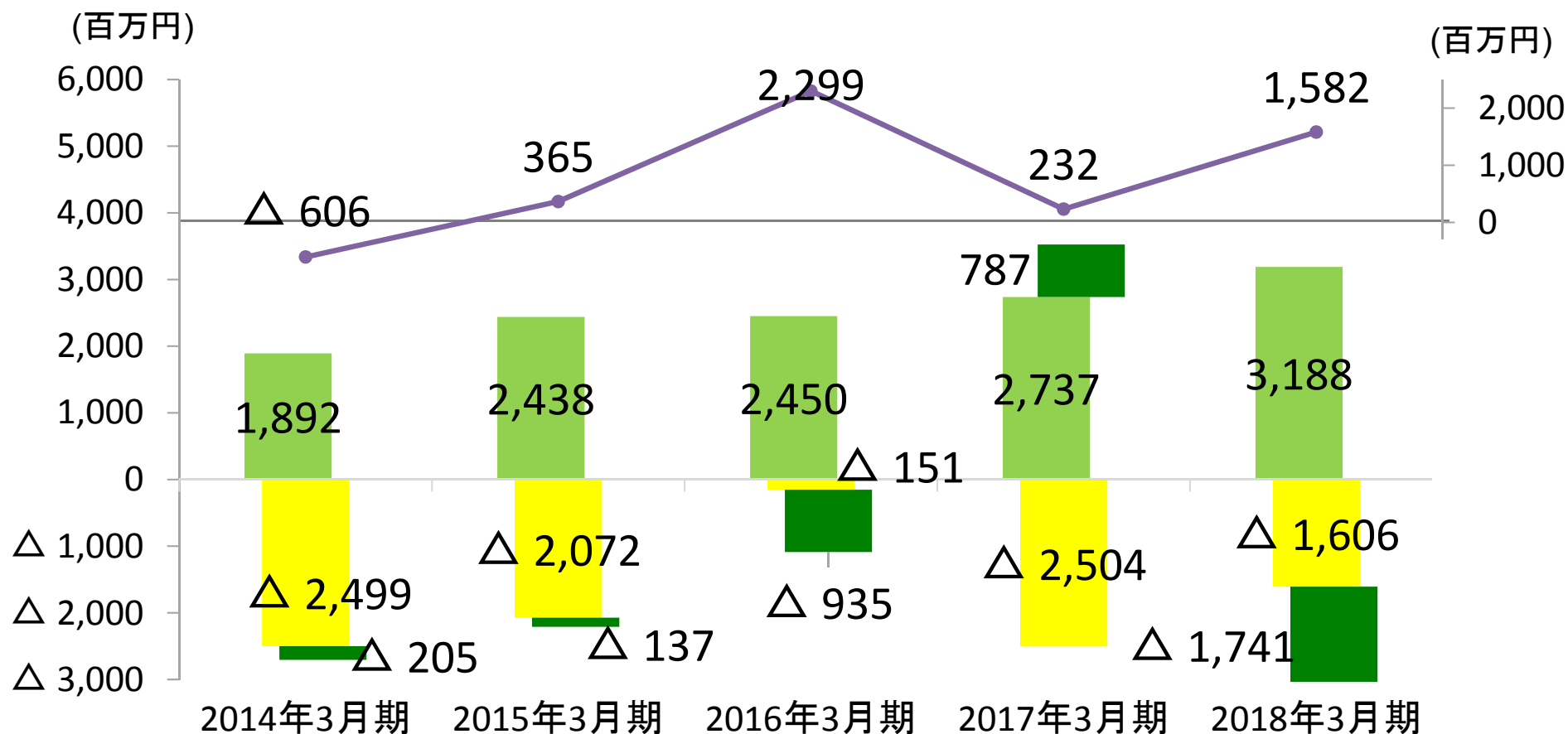
約1,700軒中 **80%**(ジェネリック医薬品のみの値)

# 貸借対照表(連結)

(百万円)

項目	2017年3月期	2018年3月期	増減	主な増減項目	
流動資産	29,009	28,334	△ 674	現金及び預金	△ 200
				売上債権	△ 699
				棚卸資産	+444
固定資産	17,991	18,479	+487	建物及び構築物	+1,257
				機械装置及び運搬具	+477
				建設仮勘定	△ 1,669
資産合計	47,002	46,814	△ 187		
負債合計	29,646	29,326	△ 319	仕入債務	+165
				借入金	△ 126
純資産合計 (自己資本比率)	17,355 36.9%	17,487 37.3%	+132	利益剰余金	+894
				自己株式	△ 1,118
負債純資産合計	47,002	46,814	△ 187		

# 連結キャッシュ・フロー推移



■ 営業C/F   
 ■ 投資C/F   
 ■ 財務C/F   
 ● フリーC/F(右軸)※

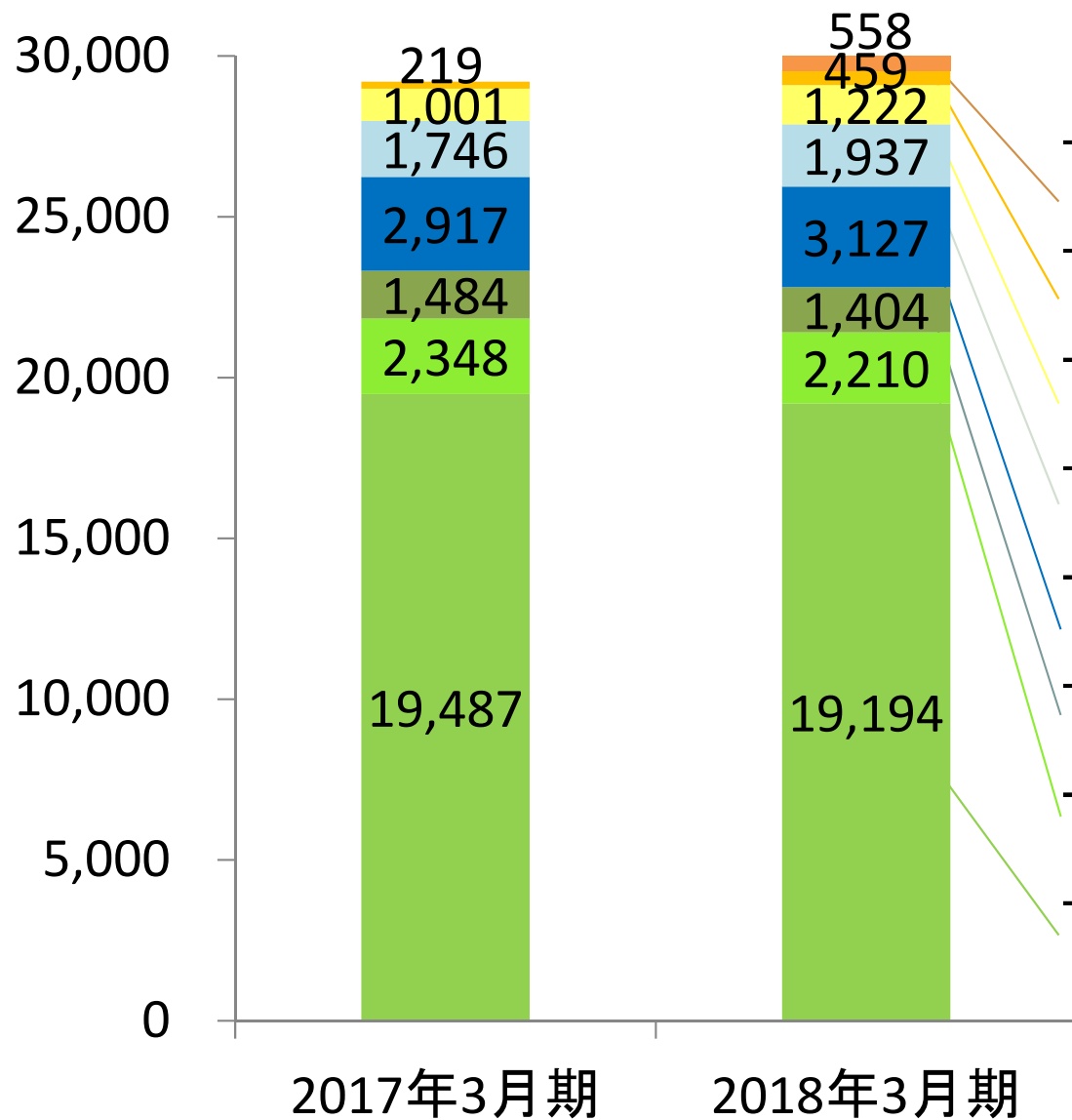
フリーC/F※...営業C/F+投資C/F





# 【参考】ジェネリック医薬品発売年度別売上（連結/荷離）

（百万円）

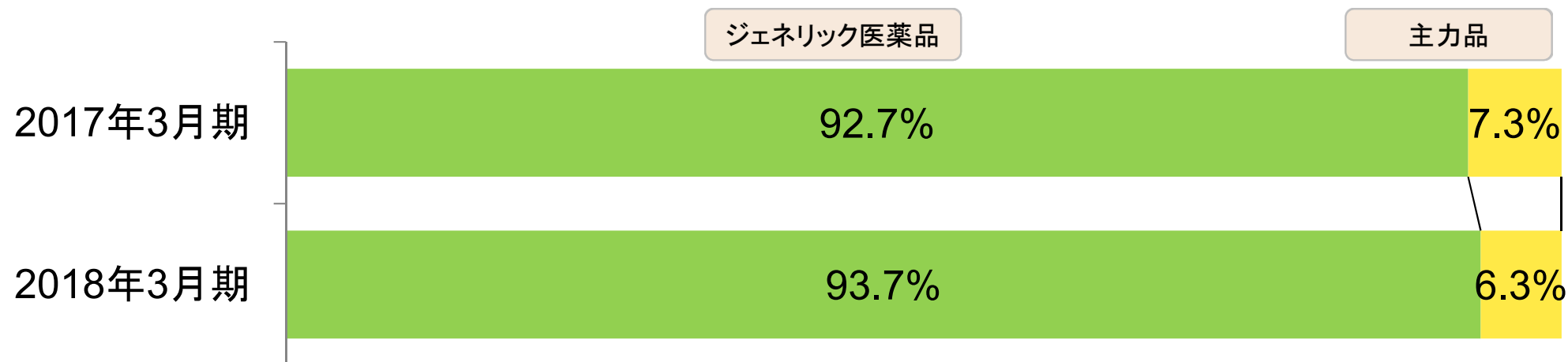


発売年度別前年同期比増減率

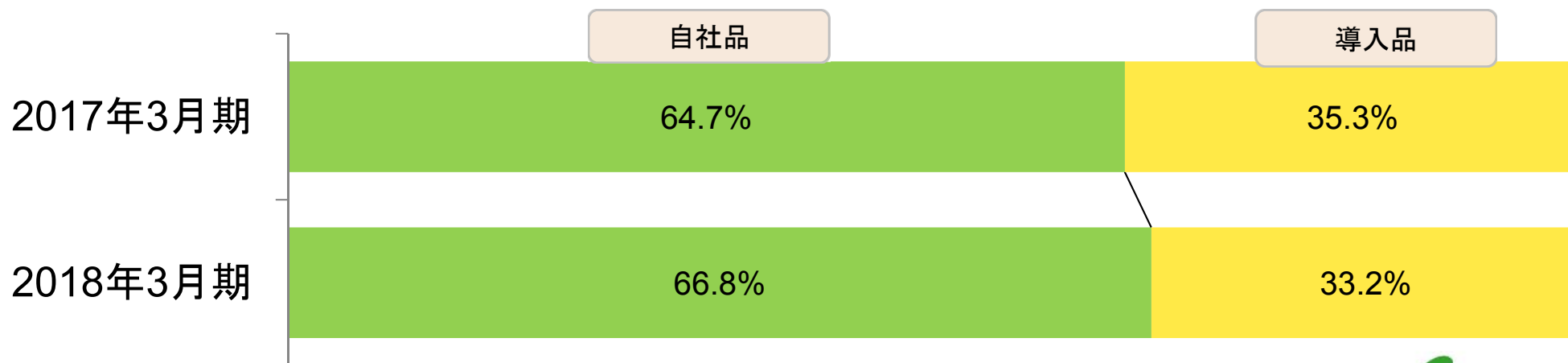
発売年度	連結荷離	うち自社販売
2018年3月期	（今期発売）	
2017年3月期	+109.1%	+149.6%
2016年3月期	+22.1%	+19.6%
2015年3月期	+11.0%	+13.0%
2014年3月期	+7.2%	+7.6%
2013年3月期	△ 5.4%	+5.8%
2012年3月期	△ 5.9%	+0.6%
2011年3月期以前	△ 1.5%	△ 0.4%

# 【参考】ジェネリック医薬品売上構成比（連結/荷離）

## 医療用医薬品売上に占めるジェネリック医薬品の構成比



## ジェネリック医薬品売上に占める自社品と導入品の構成比



# 2019年3月期 通期業績予想

# 連結業績予想

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
売上高	35,331	100.0%	35,500	100.0%	+0.5%
うち 医療用医薬品 荷離	32,153	—	31,800	—	△ 1.1%
(ジェネリック医薬品)	30,115	—	30,150	—	+0.1%
(主力品)	2,038	—	1,650	—	△ 19.0%
営業利益	1,848	5.2%	1,100	3.1%	△ 40.5%
経常利益	1,696	4.8%	1,000	2.8%	△ 41.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	3.3%	500	1.4%	△ 56.9%

## 売上高の増減要因

- (△) 薬価改定率 △14%
- (+) 新規販売ルート拡大
- (+) 新製品の発売

## 先行支出の増加(前年同期比)

- ベトナム 商業生産準備費用 +4億円
- 創薬研究 開発ステージ進展に伴う支出 +3億円

# 医療用医薬品売上計画 (連結/荷離)

(百万円)

	2018年3月期		2019年3月期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
医療用医薬品荷離(①+②)	32,153	100.0%	31,800	100.0%	△ 1.1%
①ジェネリック医薬品荷離	30,115	93.7%	30,150	94.8%	+0.1%
うち自社販売	29,174		29,250		+0.3%
うち導出・輸出	941		900		△ 4.4%
アムロジピン	2,940		2,900		△ 1.4%
ランソプラゾール	2,163		1,900		△ 12.2%
ドネペジル	1,557		1,350		△ 13.3%
ラベプラゾール	1,558		1,350		△ 13.4%
リマプロスト	1,427		1,350		△ 5.5%
プラバスタチン	1,147		1,100		△ 4.1%
ボグリボース	870		750		△ 13.9%
その他	18,449		19,450		+5.4%
②主力品	2,038	6.3%	1,650	5.2%	△ 19.0%
ウラリット	1,225		1,070		△ 12.7%
ソレトン	598		400		△ 33.1%
カルバン	214		180		△ 16.2%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	31,100	100.0%	31,350	100.0%	+0.8%
③ジェネリック医薬品受託	985	3.2%	1,200	3.8%	+21.8%

# 発売予定品目

## 2018年6月薬価収載予定(4成分8品目)

薬効分類 (製品タイトル)	製品名	先発品名
循環器官用薬 (長時間作用型ARB/ 持続性Ca拮抗薬配合剤)	イルアミクス配合錠LD「ケミファ」	アイミクス配合錠LD
	イルアミクス配合錠HD「ケミファ」	アイミクス配合錠HD
循環器官用薬 (高リン血症治療剤)	炭酸ランタンOD錠250mg「ケミファ」	ホスレノールOD錠250mg
	炭酸ランタンOD錠500mg「ケミファ」	ホスレノールOD錠500mg
	炭酸ランタン顆粒分包250mg「ケミファ」	ホスレノール顆粒分包250mg
	炭酸ランタン顆粒分包500mg「ケミファ」	ホスレノール顆粒分包500mg
中枢神経系用薬 (経口そう痒症改善剤)	ナルフラフィン 塩酸塩カプセル 2.5 $\mu$ g 「ケミファ」	レミッチカプセル2.5 $\mu$ g ノピコールカプセル2.5 $\mu$ g
その他の代謝性医薬品 (骨粗鬆症治療剤)	ミノドロン酸錠50mg「YD」	ボノテオ50mg リカルボン50mg

12月には2成分3品目を予定。

# 当社経営戦略について

# 3つのMission Plus 1

## 基本戦略

### ■3つのMissionによる経営戦略

- ✓ 3つのMissionを実現することで独自のビジネスモデルを確立する。
- ✓ Missionの成果を海外へ展開し、更なる将来成長を確保する。



### Mission1 ジェネリック医薬品

情報提供力や製品工夫による差別化を図るとともに、コスト競争力を高め、“質”を追求した特色あるジェネリック医薬品事業を展開する。

### Mission2 高尿酸血症(尿アルカリ化薬)

高尿酸血症領域など、尿アルカリ化療法に関する臨床研究の成果を最大限に活用する。  
新規尿酸降下薬の開発を進め早期に導出を実現する。

### Mission3 新薬開発

疼痛分野などの得意分野に特化した探索型新薬開発を推進し、オリジナル新薬を世界に展開する。

### Plus1

3つのミッションの成果をアジアを中心とした海外市場へ展開する。



# 経営戦略 I -①

## ジェネリック医薬品の課題

- オーソライズドジェネリックの台頭に伴う市場競争の激化
- 薬価切り下げとジェネリック医薬品80%時代到来に伴う市場成長の鈍化

サプライチェーン全体にわたるテコ入れ  
(開発戦略・販売戦略の見直しとコスト削減)

# 経営戦略 I - ②

## ジェネリック医薬品のサプライチェーン強化

### 開発

#### 【優位性確立】

- 付加価値品目開発  
(一番手上市など)

×

#### 【効率性追求】

- 市場の規模よりシェア確保を優先した品目選定
- 国内外共同開発の推進

### 製造

#### 【コスト低減】

- 高品質で安価な原薬への切り替え促進
- ベトナム工場稼働
- 新生産システム稼働

×

#### 【稼働強化】

- 国内外での受託ビジネス拡大
- クエンメット(ウラリットGE)を承継し製造

### 販売

#### 【販路多様化】

- 他社品承継に伴う新販売チャネル活用

×

#### 【生産性向上】

- 調剤チェーン、グループ病院対策強化
- 物流2拠点化による効率アップと在庫圧縮

# 経営戦略Ⅱ

## 高尿酸血症(尿アルカリ化薬)への多面的アプローチ

NPIによるクエンメット\*  
製造販売

- グループでクエン酸塩製剤市場をほぼ掌握

\*ウラリットのジェネリック医薬品

東北大学における  
臨床研究の進展

- クエン酸塩製剤市場拡大の可能性

新薬開発 (NC-2500  
およびNC-2700)

- 異なる作用機序の新薬開発

# 経営戦略Ⅲ-①

## 新薬開発

### パイプライン(2018年4月末時点)

赤字は2018年3月期第2四半期決算説明会資料からの更新箇所

開発番号	作用機序 (ターゲット)	前臨床	P I	P II	備考
NC-2400	PPAR- $\delta$ 作動薬 (脂質代謝改善)			Phase1終了 導出済	・セレニス社(仏)へ導出済。
NC-2500	XOR阻害薬 (高尿酸血症)			Phase1終了 導出活動中	・Phase1を2017年9月に終了し、 <b>その後のデータ取りまとめも終了。</b> ・ <b>試験結果をもって、導出や提携を目指した活動を強化。</b>
NC-2600	P2X4受容体拮抗薬 (神経障害性疼痛)			Phase1終了 導出活動中	・九州大学との共同研究。 ・Phase1を2017年9月に終了。 ・ <b>データの解析を進めるとともに、内外企業に向け導出活動を実施。</b>
NC-2700	URAT1阻害薬 (高尿酸血症)		前臨床試験終了 導出活動中		・前臨床試験を終了し、 <b>その後のデータ取りまとめも終了。</b> ・ <b>試験結果をもって、導出や提携を目指した活動を強化。</b>
NC-2800*	オピオイド $\delta$ 受容体作動薬 (抗うつ・抗不安)		前臨床試験終了 Phase1実施に向けて準備		・筑波大学、北里大学、国立精神・神経医療研究センターの四者での共同研究を実施してきた。 ・ <b>2017年12月AMEDのCICLE事業に採択。新たな支援を受け開発を継続。</b>
ソレトン	NSAID (びまん型腱滑膜巨細胞腫他)				・医師主導型臨床治験実施中
カルバン	$\alpha 1 \beta 1$ 遮断剤 (ハンチントン病他)				・海外ベンチャーによる新規適用に向けたPhase2予定。

\*AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)による支援を受けているテーマ

# 経営戦略Ⅲ-②

## NC-2800のCiCLE採択

2013

- JSTの研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ハイリスク挑戦タイプに採択 (支援期間2013年12月~2015年9月)

2015

- AMEDの産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)に採択 (支援期間2015年10月~2018年3月)





2017

- **2017年12月にAMEDの医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)採択**  
(支援期間2018年3月~2027年3月:最長で9年1カ月、支援期間中の導出も可能)

# 経営戦略Ⅳ-①

## 海外販売

### ■ 医療用医薬品販売

国・地域	承認取得済み	承認申請中
 中国	カルバン	ASEANを中心に 2品目を承認申請中
 香港	ピオグリタゾン、シロスタゾール	
 韓国	ソレトン、カルバン	
 タイ	ウラリット	

2017年10月香港においてシロスタゾールの販売開始。

### ■ 臨床検査薬

- 世界最速のアレルギー診断機器(DiaPack3000)とアレルギー検査試薬(オリトンIgE)を核として、アジアを中心にマーケティング活動を実施中。
- 国内商社と協力し中国での事業展開を進行中。



DiaPack3000

# 経営戦略Ⅳ-②

## 海外製造

### ■ベトナム工場

- 2017年9月14日に竣工
- 現在は試験製造を行うとともに各種の薬事申請を実施
- 2018年秋ごろには日本向けに輸出開始

所在地	No76, Dac Lap Avenue, Vietnam-Singapore Industrial Park, An Phu Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province, Vietnam
敷地面積	約10,000㎡(1ha)
建物面積	総2階建て床面積 約11,000㎡
稼働日	2018年下期
投資額	約39百万USD(資本金10.5百万USD含む)
生産能力	年間6億錠
生産品目	ジェネリック医薬品及び当社主力品
従業員数	現地採用約180名を予定



本資料に関するお問い合わせ先  
日本ケミファ株式会社 広報室  
Tel 03-3863-1211 Fax 03-3864-5940

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

